

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年10月23日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)
開催にあたり、委員による喫茶サービス実習参観を実施した
- 4 参加者

会 長	大橋 奈麻輝	大垣市社会福祉協議会 事務局長
副 会 長	山下 美智恵	西濃障がい者就業・生活支援センター 所長
委 員	上田 哲弘	大垣市日新連合自治会 会長
	粥川 加奈子	大垣市議会議員
	虫賀 恭子	大垣商工会議所 女性会 会長
	加藤 千恵美	大垣市くすのき苑 所長
	伊藤 裕一朗	大垣青年会議所 理事長 (欠席)
	吉田 佳子	本校 PTA会長
学 校 側	樽井 良和	校長
	蒔田 穰	教頭
	井上 裕詞	事務長
	篠田 裕之	部主事
	曾根 良子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和6年度 前期の学校運営について
- (2) 学校評価アンケート 集計結果について
- (3) 専門コース生産品価格について

(新規提案分)

折りたたみイス 900円

本立て 1,700円

上記、適正価格であると承認が得られた

- (4) 後期の学校行事計画について
- (5) 喫茶サービス実習の参観
- (6) 意見交換

6 委員からの意見

意見1: ホームページで学校の様子はよくわかるが、教員の様子や学校と外部機関とのかかわりについては、普段の子どもの様子で察するしかなく、よくわからない。

意見2: 卒業後、働くようになったら自分しか頼りにならない。自分でできる範囲を広げ、

教員や保護者のもとを離れ、どこまで独り立ちして、楽しく仕事ができるかが大切となる。すぐやめることなく、決めたことは我慢して取り組む力を付けてほしい。

意見3：喫茶サービス体験では、美味しく飲食でき、温かい気持ちになった。学校での指導や支援に感謝している。家庭では子どもとの関わりで変化に気付いて、学校に相談できるようにしていきたい。

意見4：人生は就職後が長い。学校では「目指す姿」に取り組んでいるとのことだが、在学時だけでなく、就職後にも「目指す姿」が達成できているか確認できると良い。また、障がい特性は多様であり、さらには重複の障がいがある場合、事業者側の支援が必須である。

意見5：県外に就職する生徒はいるが、地域には障がい者の就労に力を入れている、魅力ある企業がある。地域の生徒は地域でこそ活躍してほしいと思うこともある。

意見6：3年間は守られているが、卒業後の時間の方が長く、ケアが大事である。SNSにおける犯罪被害等に遭わないためにSOSの出し方などを在学中に学ばせてほしい。

意見7：評価アンケートの結果を踏まえ、生徒が相談しやすい環境や体制づくりは引き続き行っていただきたい。

意見8：障がい者の一般就労について、企業での意識は高まり広がってきている。企業への説明会やインターンシップ等の機会を設け、お互いに知り合うことも大切と考える。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、今年度前期における本校の学校運営の報告や、学校評価アンケートの結果と考察に対する意見を得られ、専門コースの生産物の価格については、参加した全委員より承認が得られた。

また、写真画像による前期の学習活動の報告や、喫茶サービスにおける生徒の接客や応対、生産品を直接的に参観されたことで、本校生徒の取り組みの様子について具体的に理解いただき、評価を得られた。

委員の意見を踏まえ、卒業後の一般就労を目指し、各教科・専門コースでの学習や現場実習を通して、確かな職業観や就労観を身に付けるとともに、地域の企業や人材、支援機関、家庭との連携を大切にしながら、社会を構成する一員として身に付けるべき基本的事項の習得を図り、生徒の自立につなげていく。引き続き、地域との連携や各種機関の協力を得るため、各委員の助力をいただくことを求め散会した。